（様式１）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）１００	**提案機関名**	（社）神奈川県園芸協会（県果樹組合連合会）

要望問題名　ウメ「白加賀」に代わる大粒早生品種の確保

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

ウメ「白加賀」はウメ酒用、梅干し用兼用品種として県内の主要品種として普及しているが、今後の産地間競争を勝ち抜くためには、独自ブランド品種を持つことが大変重要視されている。

現在、一部産地と共同で育種に取り組み、品種選抜に取り組んでいるが、白加賀と同等以上の熟期と大きさを超える品種候補がいまだ見あたらない。本県での青梅生産の主力品種として大粒早生品種の選抜、確保をお願いしたい。

解決希望年限	①１年以内　②[２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
対応を希望する研究機関名	①[農業技術センター]　②畜産技術センター　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	果樹花き研究部

対応区分	①実施　[②実施中]　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

果樹の新品種育成

（２）ウメの新品種育成

対応の内容等

「白加賀」に代わるウメの新品種育成については、平成9、11、14年の交雑実生から選抜しています。

現在選抜中の実生の中では、連年着果が安定しており「白加賀」よりやや早い熟期になると考えられる１系統を「注目」と判定しています。今後はその系統を小田原市上曽我の現地選抜圃場に高接ぎを行い、熟期や特性について詳しく検討したいと考えています。

解決予定年限	①１年以内　[②２～３年以内]　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	